



ダニエル シュヴァイツェル 略歴

1953年生まれのスイス人指揮者、ダニエル シュヴァイツェルはチェロと指揮の勉強の後、チューリッヒ・シンフォニー・オーケストラを創立、1981年に指揮者としてデビューする。このオーケストラを25年間、指揮、音楽監督として育て上げる。

珍しい曲、新しい曲を伝統的な曲と上手く組み合わせる行くゆう、斬新なプログラミングで、聴衆の支持を掴んでいる。特に現代曲の世界初演もたくさん手がけてきた。

2007年、今までのチューリッヒでの活動を変化させ、新しく音楽企業を創立する。

www.ods-production.com

基本的にシンフォニー演奏会が必要とする、演奏会を行うにあたって必要な条件、状態を、この企業は “Vari-Name-Struktur” に基礎を置いて活動する。チューリッヒ・トーンハレにて演奏会を開催すると言うことは、新しい時代、現代に相応する結果として生ずるシンフォニーとして、新しい構造の名、“21世紀のオーケストラ” 又は簡略して” ORCHESTER 21” “オーケストラ21” と称する。

ダニエル・シュヴァイツェルの外国の活躍はスペイン、ポルトガル、イタリア、シンガポールのフェスティバルの参加を含め、客演指揮者としては、ヨーロッパ、アメリカ、アジアのオーケストラにおよぶ。

沢山のCD録音からも彼の音楽活動の広さを知ることが出来る。

“音楽” という現象にもっとも近づくため、ダニエル・シュヴァイツェルは、客観的に記述された楽譜から、生き生きとした意識した響きへと、実際によみがえさせることを目的として、音楽を心がけている。それによって、色々な交響曲のスタイル（性格）への橋渡しを構成していく。主な彼の判断基準は、歴史的にどのように演奏されたかよりも、音楽的な本質、心を、いかにして実際に楽譜から音（響き）に置き換えるかによる。

www.ds-m.com